

チャペル週報

No.13

2017.7.3 ~ 7.7

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。
彼らは剣を打ち直して鋤とし 槍を打ち直して鎌とする。
国は国に向かって剣を上げず もはや戦うことを学ばない。
(イザヤ書 2章 4節)



原田の森 ブランチ・メモリアル・チャペル (現 神戸文学館)

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

7月3日(月) 神 キリスト教音楽に触れよう③ 水野 隆一 (神学部教授)
経 経済と人間⑥ 安岡 匡也 (経済学部教授)
人 宗教総部によるチャペル
理 前川 裕 (宗教主事)
聖和 聖書物語「預言者エリヤ」

7月4日(火) 神 ゴスペルクワイアによる音楽礼拝
文 チャペルコンサート Sing Elections (アカペラカルテット)
社 「自由」って何だろう?④ 柳本 和良 (日本キリスト教団塚口教会伝道師)
法 大宮 有博 (宗教主事)
経 経済と人間⑦ 野村 宗訓 (経済学部教授)
商 山本 俊正 (宗教主事)
国 学生活動報告④ 潮 華音 (国際学部3年)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 辻本 久夫 (本学非常勤講師、こくさいひろば芦屋代表)
教 梶原 直美 (宗教主事)

7月5日(水) 神 私にとっての神⑬ 榎本 てる子 (神学部准教授)
社 「自由」って何だろう?⑤ 倉島 哲 (社会学部教授)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 舟木 讓 (宗教主事)
商 阪 智香 (商学部教授)
人 山本 隆 (人間福祉学部教授)
国 聖書に学ぶ④ 平林 孝裕 (宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
教 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

7月6日(木) 神 有澤 安 (神学研究科M1)
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 「自由」って何だろう?⑥ 岡田 弥生 (社会学部教授)
法 大宮 有博 (宗教主事)
商 清水 靖子 (カトリック・シスター、
パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会)
国 Chapel in English 尹 盛熙 (国際学部准教授)
総 佐本 朱理 (総合政策学部3年)
聖和 田淵 結 (関西学院院長)

7月7日(金) 院 大宮 有博 (法学部宗教主事)
神 圓谷 年雄 (神学部2年)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 聖書と経済学⑦ (最終回) 井口 泰 (経済学部教授)
人 国際ボランティア活動報告
理 ALL讚美歌プログラム①

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:00～8:20 ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)
7月7日(金) 高等部のために 枝川 豊 (高等部長)

神なき世界に光を放ち続ける

井 口 泰

世界の多くの国で、国内の経済格差の拡大が、政治においては、ポピュリズム（迎合主義）の台頭を招き、自国第一主義、保護主義や外国人排斥の風潮をもたらしました。

国籍や人種による差別を克服するため、過去1世紀半以上も積み上げてきた努力が、政治家の乱暴な言動で破壊される恐ろしい動きです。これら言動が、若い世代の心に与える深刻な影響も懸念されます。

聖書を読むと、人間社会の大きな格差も、あたかも神が作り出したもののように見ることがあります。それに加えて、政治家自身が、神を自分の味方にし、自分の主張を神が導かれたように語るのも、私たちを混乱させます。

マタイによる福音書には、第13章に「マタイの法則」が書かれています。これをよく読めば、イエスがなぜ、比喩で福音を語られたかが説明されています。民の多くが頑なで、イエスのことばを理解しない理由として、格差の存在が指摘されています。

ルカによる福音書で、これに相当する箇所をみると、神の言葉を理解する能力は、神によって与えられ、そのような能力を与えられない者は、ますます頑なになっていくのです。

イザヤ書第60章は、この世が神から離れていること、神なしに生きる多くの人に満ちていることを示唆しています。人は自分の力のみで生きようとし、矛盾や不条理を生み出してしまいます。多くの人々は神の前に立とうとはせず、他者の困難への共感も失われつつあります。

聖書は、心の世界の格差と、物質の世界の格差を、完全に切り離すことをしていません。

そこに書かれたことは精神世界のことで、現実の世界の生き方は全く別だといった考え方は、断じて受け入れることはできません。日曜日は教会に行くが、平日は全く別の生き方をするとといったことを続けてはいけません。

不条理と矛盾に満ちた世界を変えるべく、われわれは神の創造的な働きを信じ、勇気をもって行動しなければなりません。世界に光を放ち続けることこそ、私たちの使命のはずです。

本年から、経済学部では金曜日のチャペルに、「経済学と聖書」のシリーズを追加しました。学生の皆さんが、聖書に日常から親しむことができるよう、また、経済学部にも、リベラルアーツの灯を絶やさないう、このチャペルの上に神の導きを願っております。

(経済学部教授)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

7月主題:学期末を迎えて、夏休みを前に

7月6日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

7月13日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

7月20日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

●オルガン音楽の泉 2017 Spring Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第20回 7月7日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主催:宗教センター

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

7月9日(日)10:00～11:00

7月23日(日)10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●秋の献血週間のお知らせく西宮上ヶ原キャンパス>

宗教総部献血実行委員会では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間:10月2日(月)～6日(金)

受付場所:吉岡記念館ラウンジ

主 催:宗教総部献血実行委員会

●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち49人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き:10月7日(土)10時～16時

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

指導者:太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催:宗教センター

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第3回 10月19日(木) 18:30～20:00

第4回 1月11日(木) 18:30～20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。